

創造・参加・実践
No.764

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



JR西労組
LINE@
新規登録受付中

「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL 06-6375-9869(代)
FAX 06-6373-4133

発行責任者 上村 良成
編集責任者 尾崎 裕介



広島病院支部の組合員とご家族の皆さんに感謝

JR広島病院 新たな独立行政法人へ 広島地方本部広島病院支部が解散

2025年度新入社員の皆さん! 入社おめでとうございます!

ようこそ JR西日本へ



JR西労組 上村委員長からの メッセージ

上村 良成

JR西労組中央執行委員長
(JR連合副会長・JR西日本連合議長)

入社おめでとうございます。私たちはJR西日本に働く社員の約96%が加入する労働組合「JR西労組」です。

皆さんは、まず、賃金、労働時間、休日、福利厚生など働き方や処遇のルールや基準、安全に働くための職場の設備や作業の手順、さらに、病気やケガ、生活上のトラブルへの支援制度など、働くうえでの様々な条件や環境が決まっていることを学ぶと思います。これらは、皆さんが安心して意欲を持って働き、豊かな生活を送れるよう、「JR西労組」が、働く仲間を代表して、会社と協議し、整備してきたものです。賃金などの労働条件の改善や育児・介護など生活上の課題と仕事をいかに両立させるか、女性の活躍をさらに推進するためにどうすべきかなど、働く環境のいっそうの充実に向けて、組合員の皆さんの意見や要望を聞き、それらの改善に向けた活動を日々進めています。

また、私たち「JR西労組」の原点は仲間の助け合いです。皆さんは、仕事や生活のうえで課題や悩みに直面することもあると思います。

「JR西労組」は、一人ひとりに寄り添いサポートする組織であり、そのための活動を職場の先輩が中心となって積極的に進めています。

そして、私たちの雇用を守り、充実した生活を今後も持続させていくためには、安全の確保を基礎に、JR西日本を健全に発展させていくことも大切です。JR西労組は、2005年4月25日に惹き起こした福知山線列車事故の反省と教訓を胸に刻み、職場からの安全確立に全力で取り組んでいます。また、働く者の立場、地域の視点などから、会社や社会に対する働き掛けなども行っています。私たち「JR西労組」は、これからJR西日本で活躍される皆さんの仕事と生活を応援します。JR西労組に加入いただき、仲間としてともにがんばっていきましょう。



広島病院支部組織オルグでは、これまでの思い出を語り合った



「広島病院支部感謝の集い」では、これからも連合の仲間として活動を共にしていくことを確認

JR広島病院は、2022年11月に広島県が新病院構想を公表し、2023年9月に基本構想を具体化した基本計画が公表され、2025年4月1日に広島県が設立する地方独立行政法人「県立二葉の里病院」へ移行となった。

2022年に広島県から構想が公表されて以降、広島病院支部は、広島地方本部とも連携し、医療法人JR広島病院からの移行や、その後の労働組合の組織体制について議論し、4月1日以降については、独立行政法人の転

籍となることから、労働組合についても、産別を自治労とし、「広島県立病院機構職員労働組合」が、2月22日に結成され、「二葉の里病院支部」として、今後は連合活動へ参画することとなる。

中央本部は、広島病院支部の解散大会が行われた3月23日(日)に、広島病院支部組織オルグを行い、約40名が参加した。上村中央執行委員長は、「これまでの思い出を語り合い、労働組合という立場でこれからも関わりを持っていきたい」と挨拶で

広島病院支部組合員の皆さんありがとう! これからも共にガンバロー!

述べ、現在の課題やこれまでのJR西労組で共に運動した思いを語り合った。そして、広島地方本部が「広島病院支部感謝の集い」をホテルグランヴィア広島において開催し、約80名が出席した。

鳥地本執行委員長は、「楽しいことも辛いことも共に乗り越えてきた。今後も連合の仲間として変わらない関係を築いていきたい」と挨拶。広島病院支部長岡委員長は、「コロナ禍では医療資源の提供など、JR西労組の皆さんに様々な場面で支えられ、共に

運動してきたことに感謝している。新たな組織体制となりJR西労組を離れるが、同じ連合傘下の組織として活動を共にしていきたい」と述べた。

参加者はこれまでの思い出を語り合いながら、今後も関係を継続していくことを誓い、共にガンバロー! 広島病院支部組合員の皆様のこれまでのJR西労組運動への参画に敬意と感謝の意を表するとともに、更なる活躍を祈念する。また、同じ連合傘下の労働組合として、引き続き、運動を展開し、共にガンバロー!

JR広島病院の変遷

| 年 | 病院支部の沿革 | 会社・病院の沿革 |
|------|--|---------------------------------|
| 1920 | | 広島鉄道治療所の開設 |
| 1940 | | 広島鉄道病院に昇格 |
| 1944 | | 新病院に移設 |
| 1945 | | 原爆により病院倒壊 |
| 1946 | 国鉄労働組合総連合会の結成 | |
| 1949 | | 日本国有鉄道発足 新病院の移設 |
| 1963 | | 新病院の移設 |
| 1987 | 西日本旅客鉄道労働組合(旧西労組)の結成 | 国鉄分割民営化により 西日本旅客鉄道株式会社が設立 |
| 1991 | 鉄道産業労働組合と合流し、 西日本旅客鉄道労働組合(現JR西労組)の結成 | |
| 1992 | JR西労組広島地方本部、 広島支社支部、 広島鉄道病院分会の発足 | |
| 2012 | 広島鉄道病院の医療法人化と 新築移転の提案を受ける | |
| 2016 | 広島病院支部の発足 | 医療法人JR広島病院の開院 |
| 2022 | | 高度医療・ 人材育成拠点基本構想で 統合対象となる |
| 2023 | 病院統合について協議 | |
| 2025 | 広島病院支部の臨時大会で 組合の統合、産別を自治労へ 移行することが承認 | |